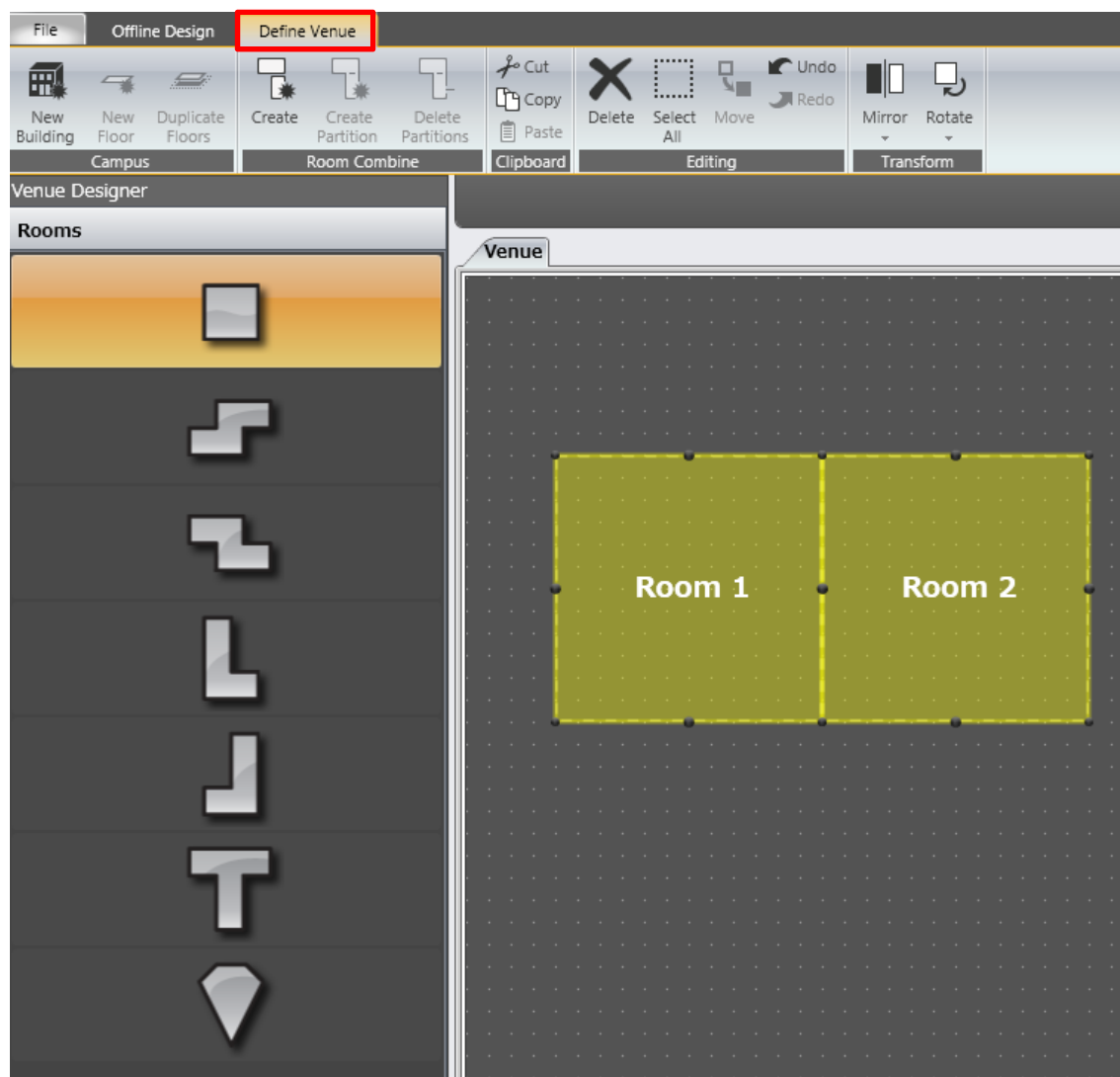


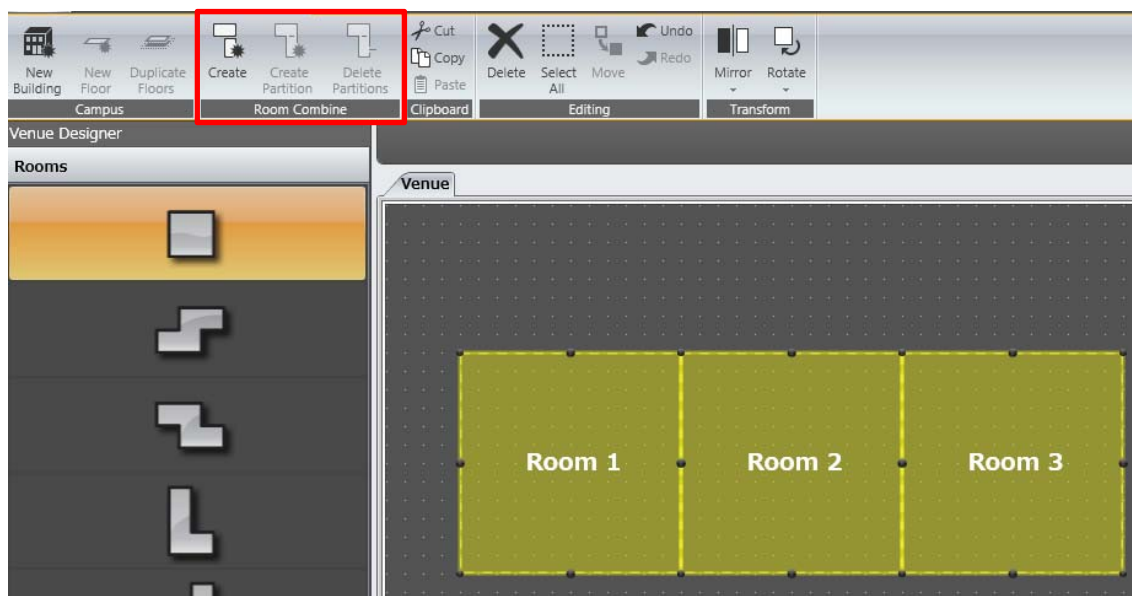
パーティション分けで運用するシステム (Room Combine 機能) について

パーティションの区切りを変えると、部屋の運用パターンを切り替えたい場合、Room Combine 機能を使用することで、プログラムが簡単になります。

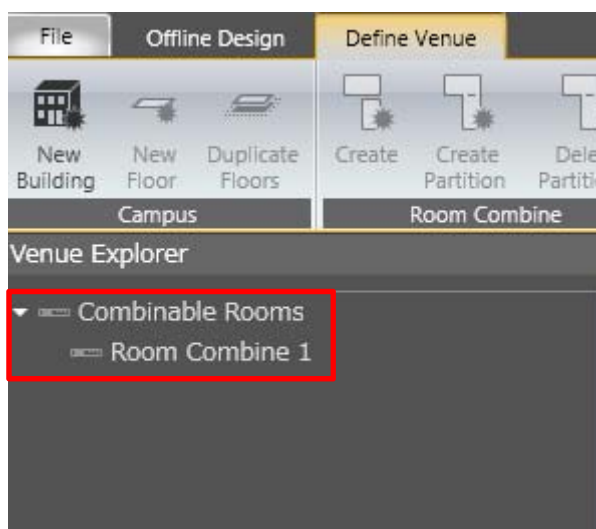
まず「Main Venue」の「Define Venue」モードで部屋を設定し、パーティションを作ります。



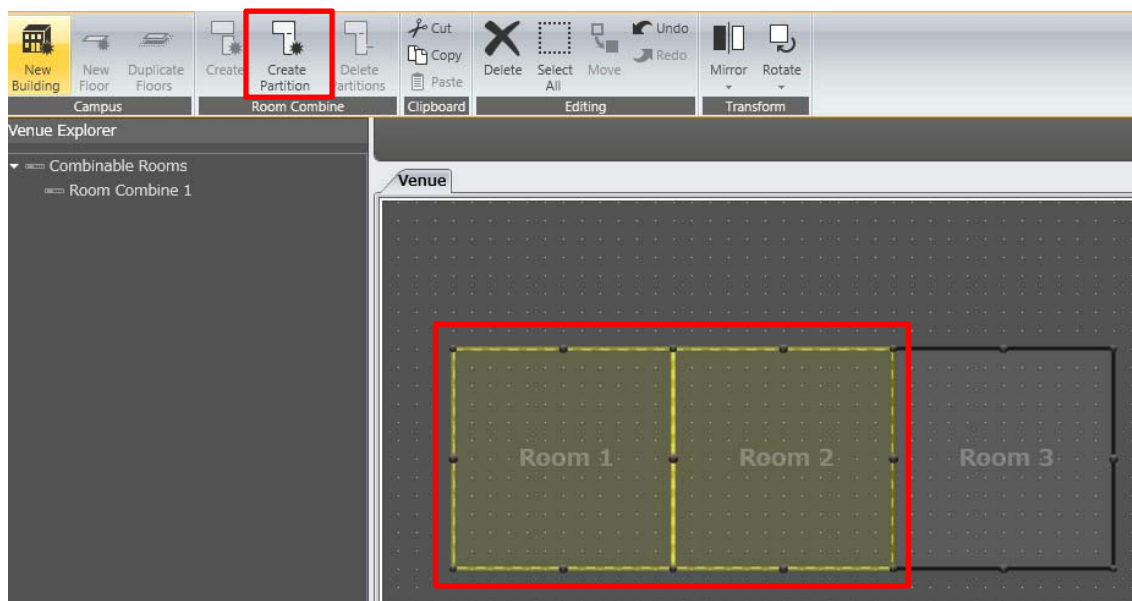
パーティションを作成する為に、運用する部屋をすべて選択し、
上部「Room Combine」中の「Create」をクリックします。



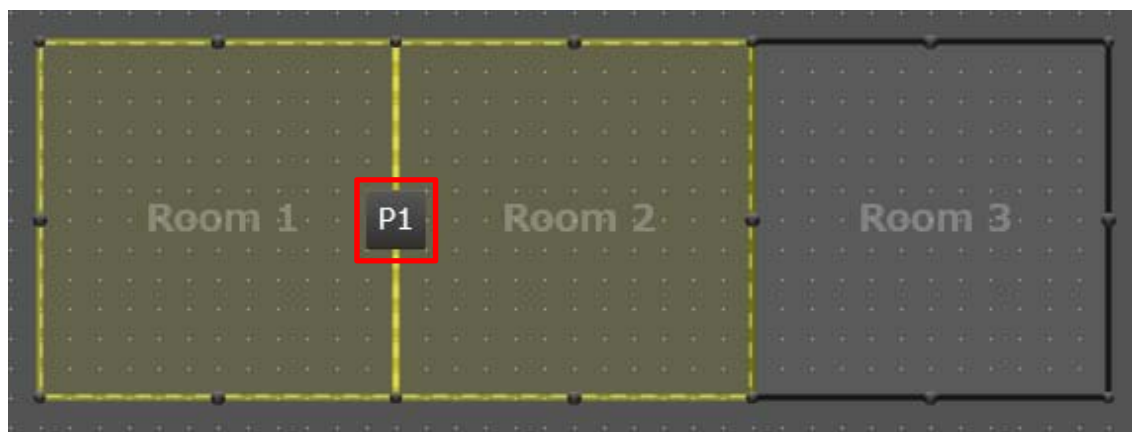
「Create」をクリックすると Venue Explore 上に「Room Combine」が作成されます。
これが、BLU 上で使用できるオブジェクトとなります。



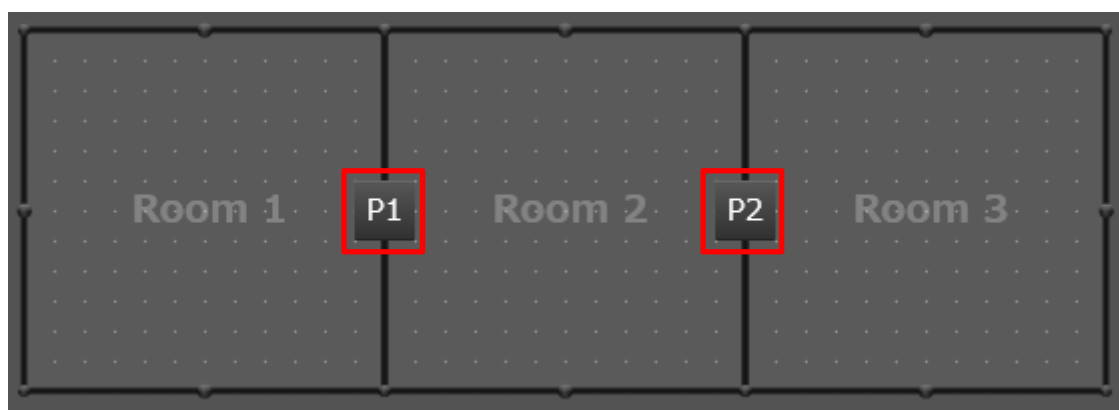
パーテーションを作りたい2つの部屋を選択し、「Create Partition」をクリックします。



パーテーションが作成されました。

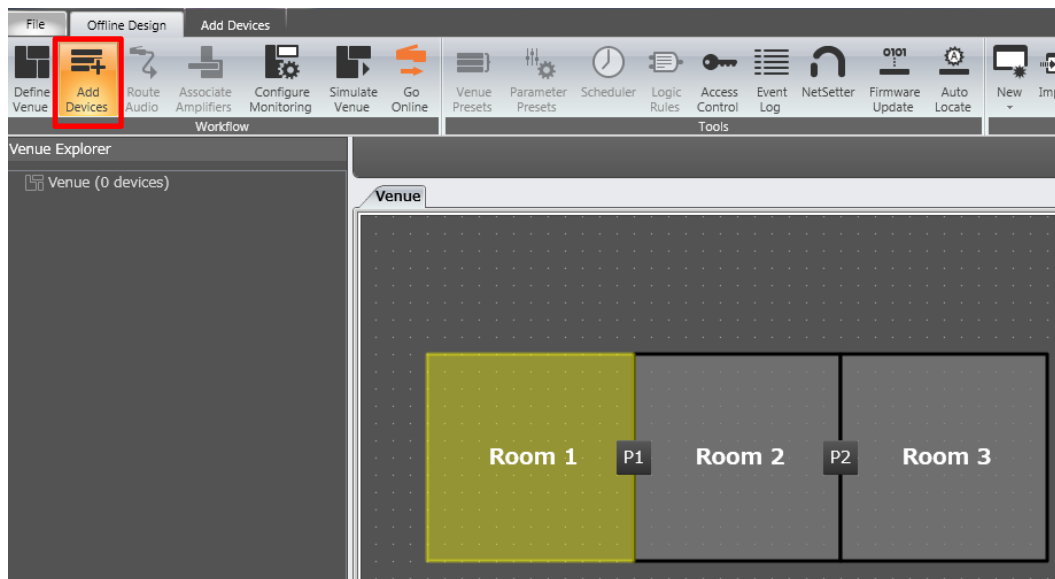


同様にパーテーションを作っていきます。

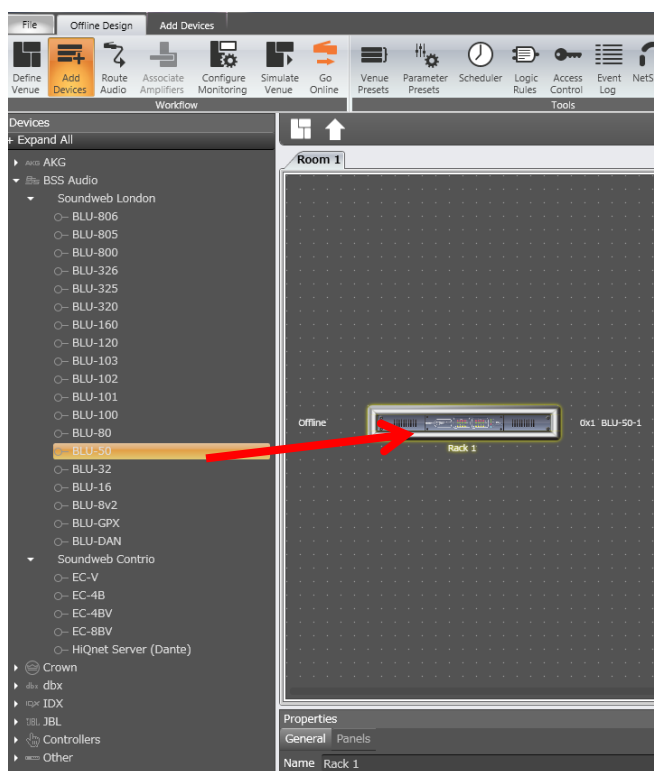


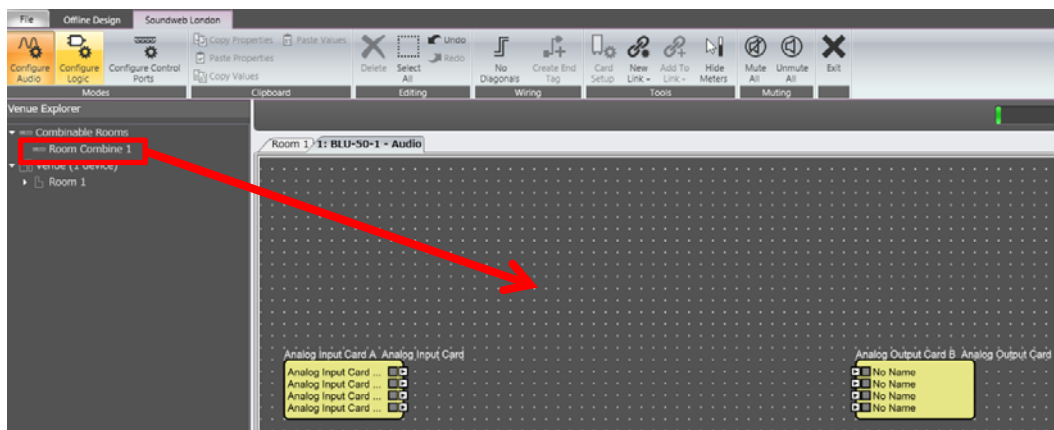
大きな部屋をパーテーションで分けて、3つの部屋を作りました。

「Add Devices」モードに入り、BLU を配置します。(今回は BLU-50 を使います)

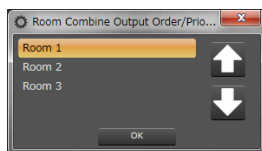


BLU-50 を配置します。

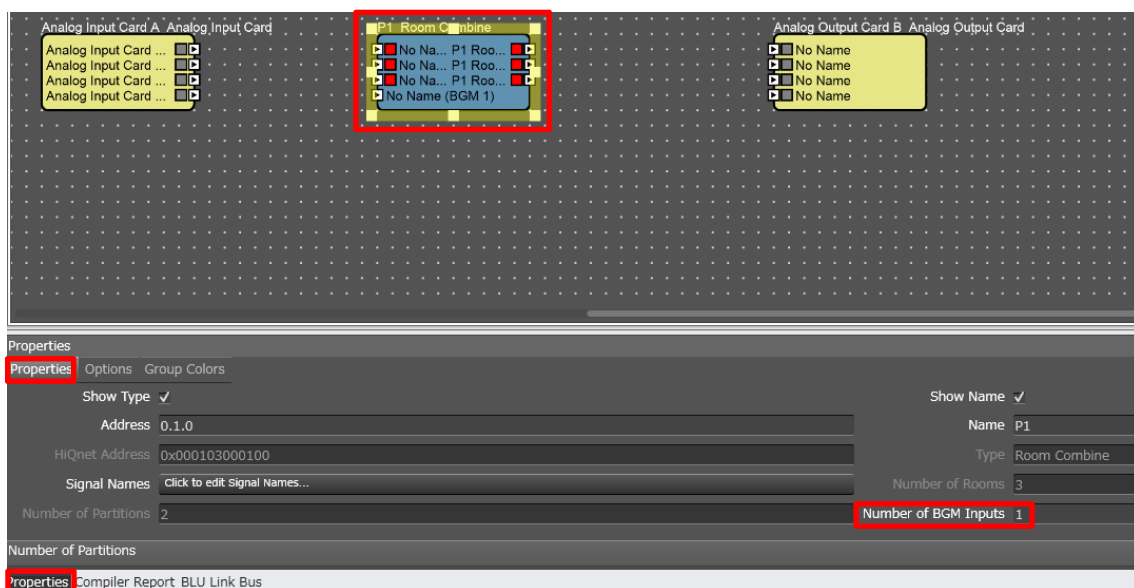




左側 Venue Explorer より「Room Combine 1」をドラック＆ドロップ配置します。



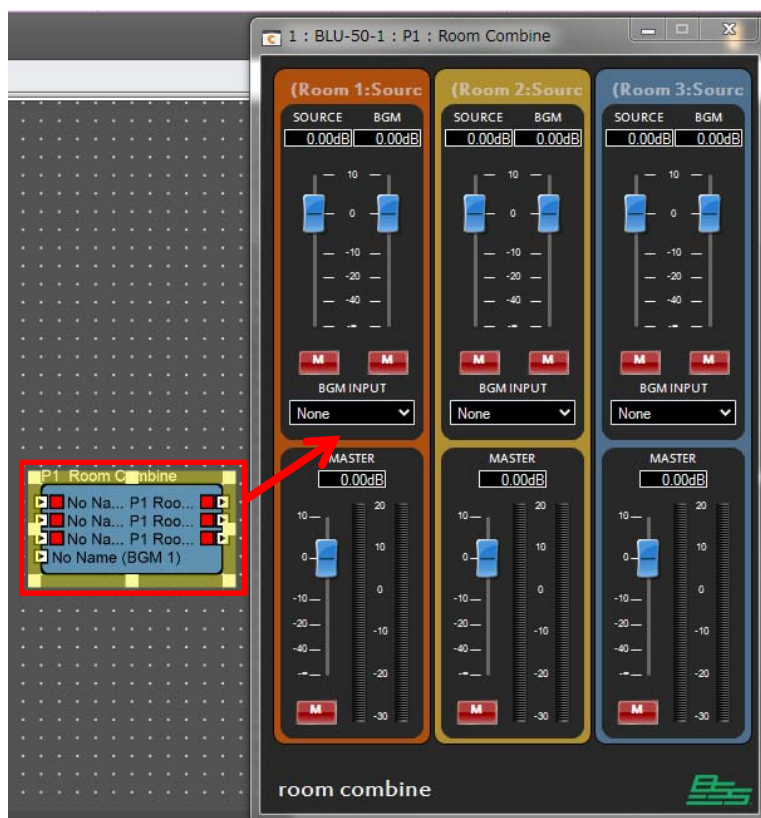
上部設定画面が最初に表示され、オブジェクト上の信号の並びを決定します。



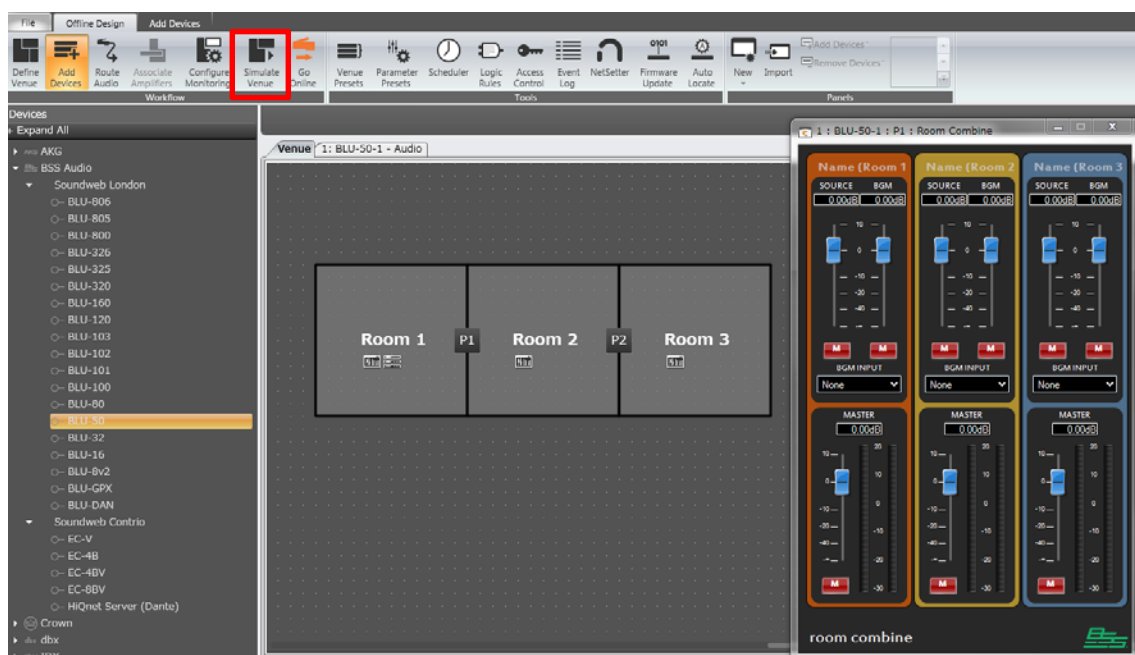
オブジェクトを選択し、下部に表示される「Properties」を選択し、1:信号の名前、2: BGM ソースの数を決定します。

「Options」を選択し、1:AutoMixer を使用 2:ステレオ対応 3: BGM Signal 4:PriorityPartitionMode を使用 5: Use Signal Name を使用

から必要な設定を選択します。

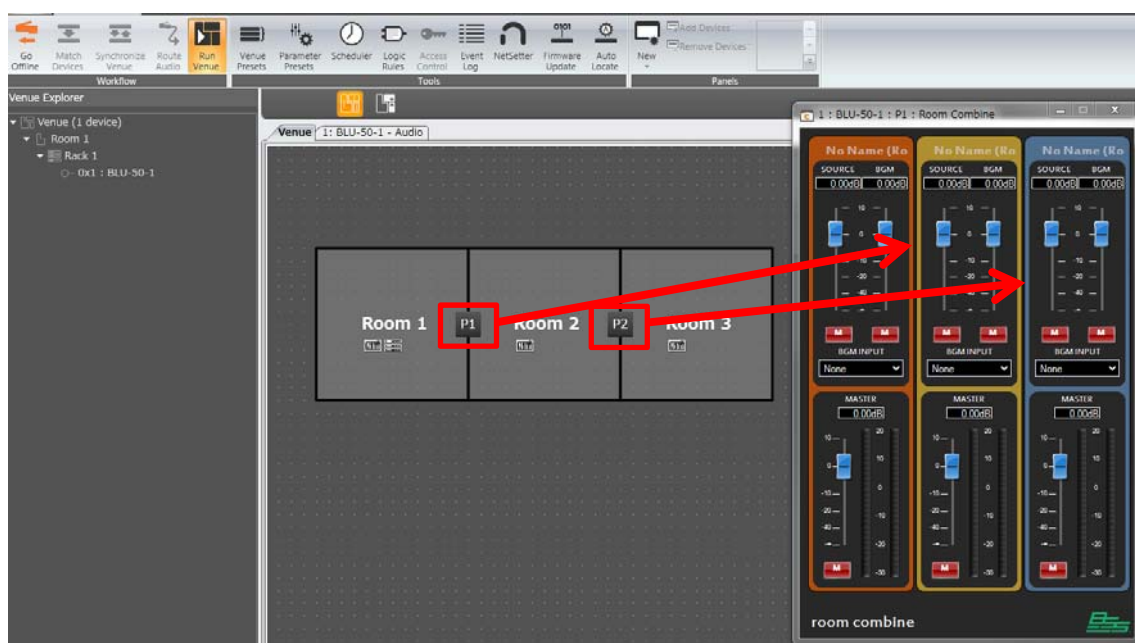


自動的にパーティションで分けられた部屋分の入出力ができ上がります。



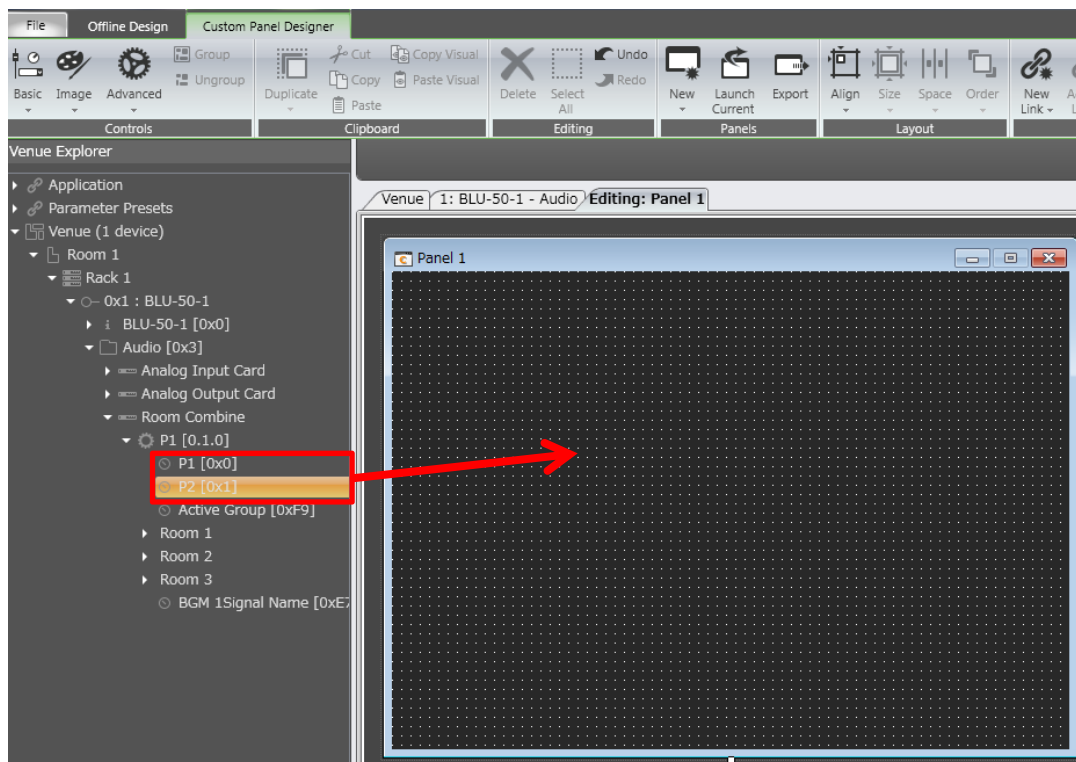
「Simulate Venue」をクリックします。

動作確認の方法

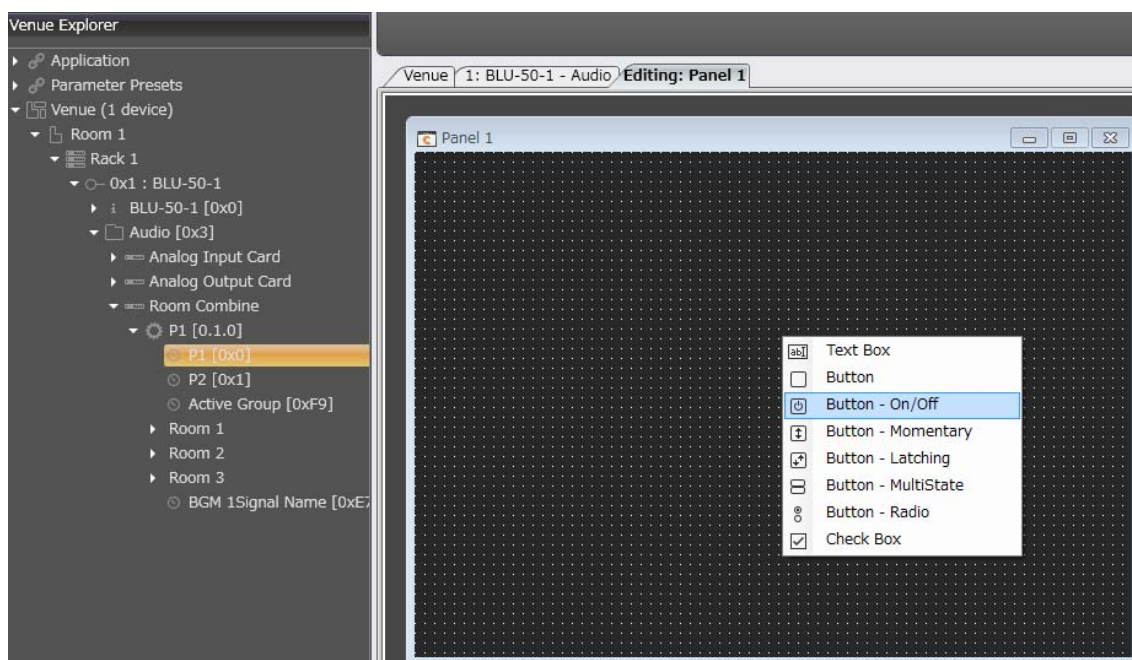


「P1」「P2」ボタンをクリックすると、「Room Combine」内で自動的にグルーピングされ、「P1」「P2」ボタンが、プリセットボタンの様に動作します。

プリセットとしてパーティションボタンを配置するには、
カスタムパネルを新たに作成し、下図のように、「Venue Explore」上にある
パーティション「P1」「P2」をドラック&ドロップします。



その結果、どういう形状としてカスタムパネルに配置するか、
下図選択画面が出てくるので、「Button - On/Off」を選択します。



最終的に下図のように、プリセットボタンが配置できます。

